

令和7年 気象の経過と柑橘および落葉果樹の生態

静岡県農林技術研究所果樹研究センター

1 気象の経過

(1) 気温

清水区茂畑の年平均気温は 16.4℃であった。清水区興津の年平均気温は 17.6℃(平年 16.7℃)であり、平年より 0.9℃高かった。月別にみると、2月 は平年より低く、11月 は平年並み、その他の月は平年より高かった。

(2) 降水量

清水区茂畑の年間降水量は 2137.5mm であった。清水区興津の年間降水量は 1963.0mm (平年比 82.5%) であり、平年より少なかった。月別にみると、1・2・4・7・11月 は平年より少なく、5・9月 は平年より多く、その他の月は平年並みであった。

(3) 日照時間

清水区興津の年間日照時間は 2304.3 時間(平年比 108.3%) で平年より多かった。月別にみると、3・5・10・12月 は平年より少なく、4月 は平年並み、その他の月は平年より多かった。清水区茂畑では日照時間の観測を行っていないためデータなし。

令和7年(2025年)の気象の経過(平年との比較)

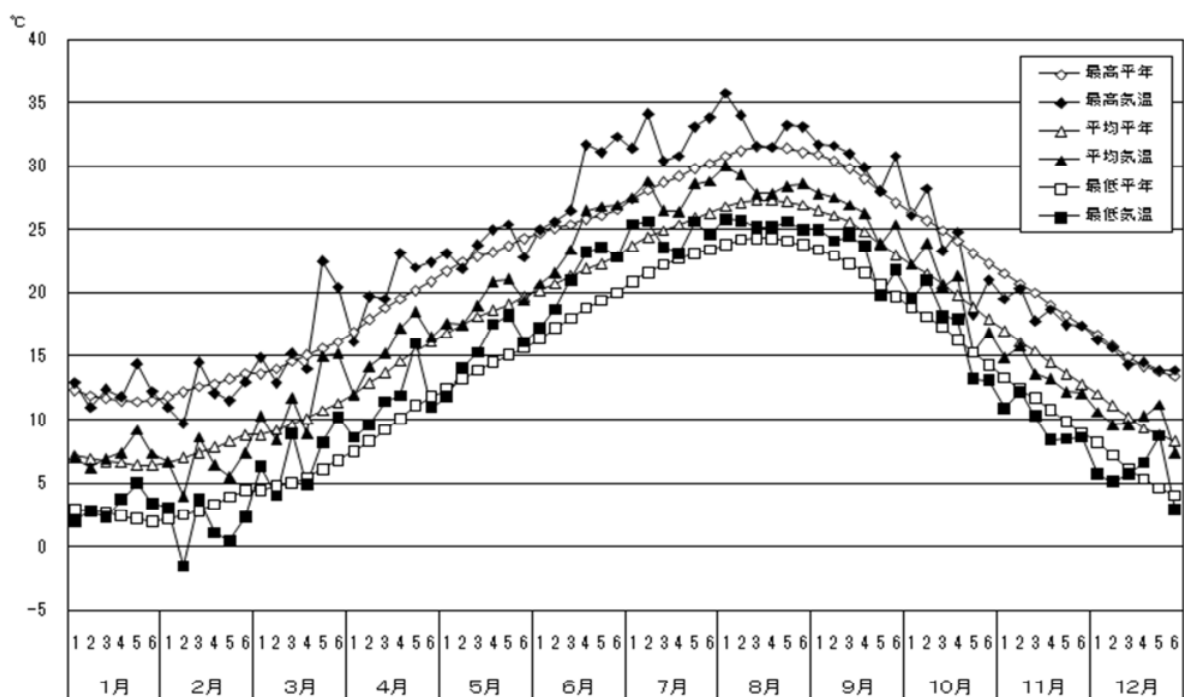
月	平均気温(℃)						最高気温(℃)					最低気温(℃)			
	茂畑	アメダス観測点(興津中町)					茂畑	アメダス観測点(興津中町)				茂畑	アメダス観測点(興津中町)		
		2025年	平年	平年格差	階級 ^{注)}			2025年	平年	平年差			2025年	平年	平年差
1	5.9	7.3	6.7	0.6	+		11.2	12.5	11.7	0.8		1.9	3.2	2.5	0.7
2	5.1	6.4	7.5	-1.1	-		10.6	11.9	12.6	-0.7		0.2	1.5	3.1	-1.6
3	10.4	11.7	10.5	1.2	+		15.3	16.8	15.4	1.4		5.9	7.2	6.0	1.2
4	14.4	15.6	14.9	0.7	+		19.4	20.5	19.8	0.7		10.2	11.4	10.5	0.9
5	18.3	19.3	18.9	0.4	+		22.6	23.6	23.6	0.0		14.4	15.5	14.9	0.6
6	23.5	24.3	22.1	2.2	+		27.6	28.7	26.1	2.6		20.2	21.1	19.0	2.1
7	26.7	27.8	25.7	2.1	+		30.8	32.3	29.5	2.8		23.6	24.7	22.8	1.9
8	27.6	28.6	27.1	1.5	+		32.0	33.2	31.3	1.9		24.2	25.4	24.0	1.4
9	25.1	26.3	24.3	2.0	+		29.2	30.5	28.4	2.1		22.1	23.1	21.0	2.1
10	18.6	19.9	19.3	0.6	+		22.1	23.5	23.5	0.0		16.0	17.0	15.7	1.3
11	12.5	13.6	14.1	-0.5	0		17.4	18.5	18.7	-0.2		8.9	9.8	10.3	-0.5
12	8.6	9.7	9.1	0.6	+		13.7	14.7	14.1	0.6		4.5	5.7	5.0	0.7
年間	16.4	17.6	16.7	0.9	+		21.0	22.3	21.2	1.1		12.7	13.8	12.9	0.9

月	降水量(mm)						日照時間(h)				
	茂畑	アメダス観測点(興津中町)					茂畑	アメダス観測点(興津中町)			
		2025年	平年	平年比(%)	階級 ^{注)}			2025年	平年	平年比(%)	階級 ^{注)}
1	36.0	36.5	81.8	44.6	－	（観測値なし）	234.8	209.0	112.3	＋	
2	25.0	28.0	106.4	26.3	－		237.5	186.0	127.7	＋	
3	232.5	202.0	209.4	96.5	0		181.8	186.6	97.4	－	
4	161.0	128.5	218.2	58.9	－		176.7	191.0	92.5	0	
5	330.0	280.5	211.8	132.4	＋		146.5	184.7	79.3	－	
6	301.0	237.5	264.7	89.7	0		178.8	127.2	140.6	＋	
7	217.0	197.5	292.5	67.5	－		227.8	148.0	153.9	＋	
8	193.0	155.5	196.2	79.3	0		240.4	197.9	121.5	＋	
9	364.5	430.5	278.8	154.4	＋		186.9	156.4	119.5	＋	
10	177.0	173.5	262.4	66.1	0		100.8	156.6	64.4	－	
11	28.0	21.0	147.1	14.3	－		186.6	169.9	109.8	＋	
12	72.5	72.0	83.0	86.7	0		196.8	201.1	97.9	－	
年間	2137.5	1963.0	2380.6	82.5	－	2304.3	2126.8	108.3	＋		

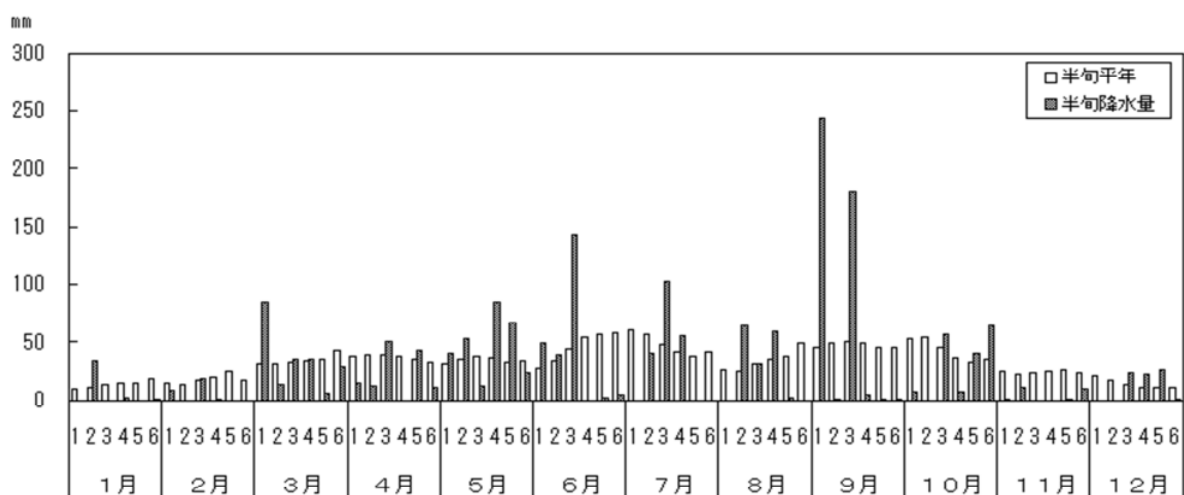
注)「階級」欄の符号はそれぞれ、+：高い(多い)、0：平年並み、-：低い(少ない)を示す。

「階級」の判定においては静岡地方気象台による以下の基準を参考にした。

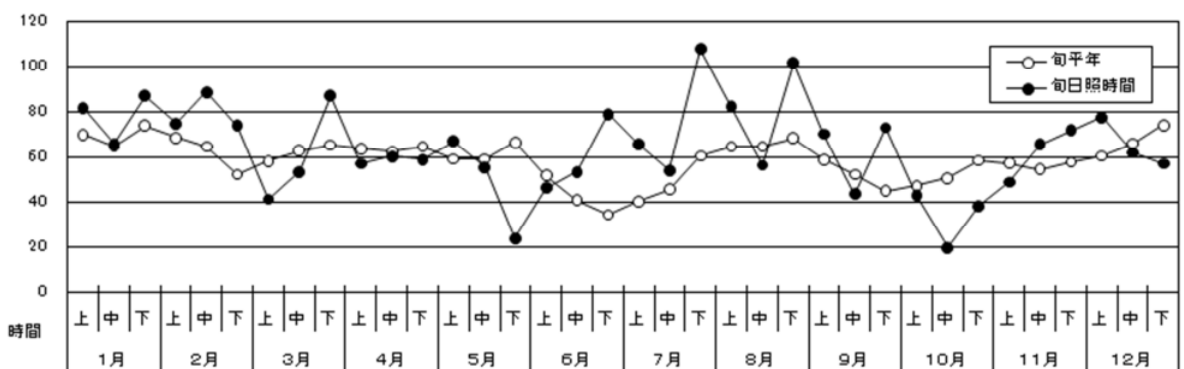
1991～2020年における観測値(30個)が等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)よう3区分した。



気温(静岡市清水区興津中町)



降水量(静岡市清水区興津中町)



日照時間(静岡市清水区興津中町)

2 柑橘の生態

宮川早生の調査地点は静岡市清水区茂畑、青島温州の調査地点は静岡市清水区新田ヶ谷である。各品種4樹を調査した。

(1) 発芽期および開花期

①宮川早生

発芽期は4月2日であった。開花始期は5月7日、開花盛期は5月11日、開花終期は5月19日、開花期間は13日であった。

②青島温州

発芽期は3月28日であった。開花始期は5月3日、開花盛期は5月6日、開花終期は5月14日、開花期間は12日であった。

2月の平均気温は平年より低く、3月の平均気温は平年より高かったため、発芽期が平年並～やや早くなったと考えられる。4月以降は気温が平年よりやや高めであったが、過去数年と比較して気温の平年格差が小さかったため、開花始期、盛期、終期が平年並～やや早くなったと考えられる。

令和7年 発芽・開花期^{注)}

令和 年度	宮川早生					青島温州				
	発芽期	開花期				発芽期	開花期			
		始期	盛期	終期	期間		始期	盛期	終期	期間
7年	4/2	5/7	5/11	5/19	13日	3/28	5/3	5/6	5/14	12日
6年	4/2	4/30	5/4	5/15	16日	3/30	4/28	4/30	5/10	13日
5年	3/27	5/1	5/8	5/15	15日	3/25	4/28	5/3	5/12	15日
平年	4/2	5/6	5/11	5/19	14日	3/31	5/2	5/7	5/16	14日

発芽期：芽の過半数が3mm以上伸びたとき

開花始期：蕾が連続して開花し始めたとき

開花盛期：つぼみの60%程度が開花したとき

開花終期：90%の花が褐変または落弁したとき

※宮川早生は清水区茂畑、青島温州は清水区新田ヶ谷で調査を実施。

※宮川早生の平年は過去6年の平均値、青島温州の平年は過去10年の平均値を使用。

(2) 生理落果の波相

①宮川早生

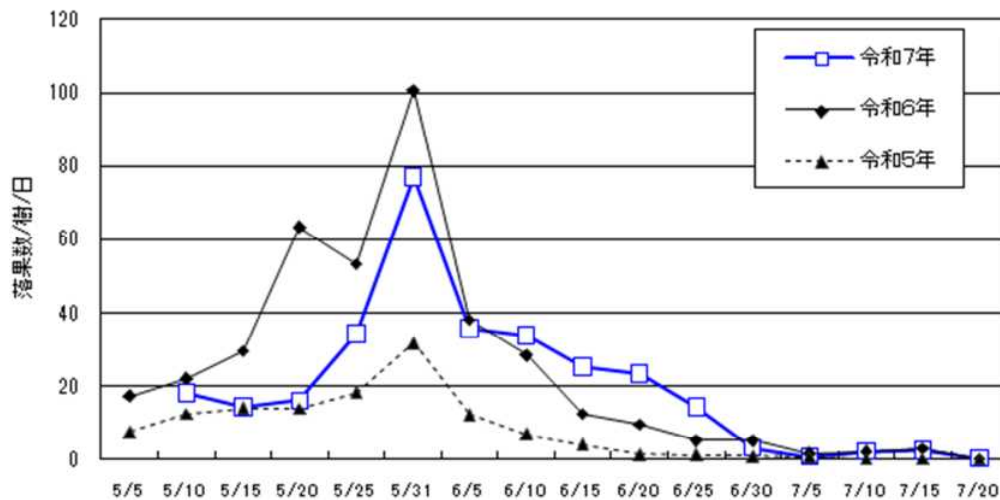
本年度の生理落果のピークは5月31日頃であり、その後漸次減少し、6月末にはほぼ終了した。生理落果のピークは昨年と同日であり、また開花盛期後20日目であった。

②青島温州

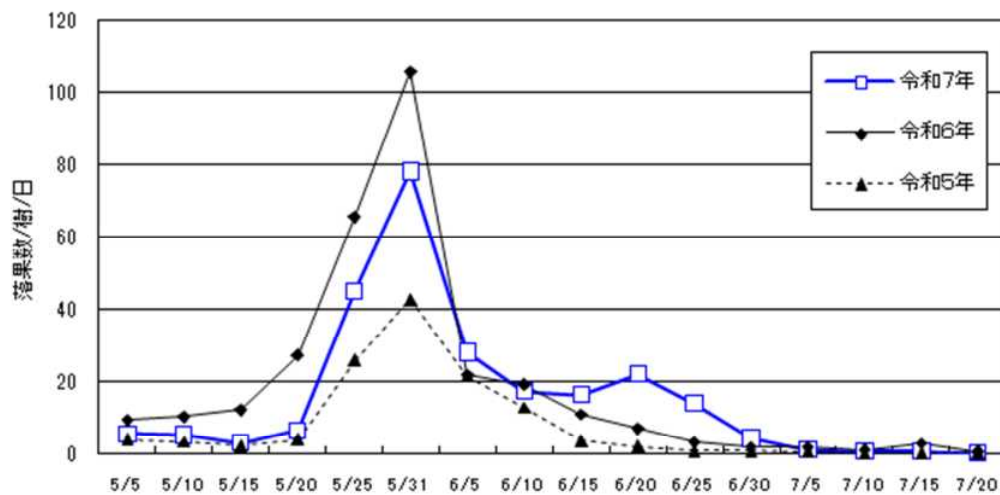
本年度の生理落果のピークは5月31日頃であり、その後漸次減少した。その後6月中旬の高温により6月20日にやや増加したが、6月末にはほぼ終了した。生理落果のピークは昨年と同日であり、また開花盛期後25日目であった。

令和7年 生理落果の波相

宮川早生(静岡市清水区茂畑)



青島温州(静岡市清水区新田ヶ谷)



※調査樹の垂主枝下に 50cm×50cm の箱を設置、落下果実を収集した。1 樹あたり 4 箱配置し、5 日間隔で落果数を調査。1 日・1 樹当たりの落果数に換算した。

(3) 果実肥大

①宮川早生

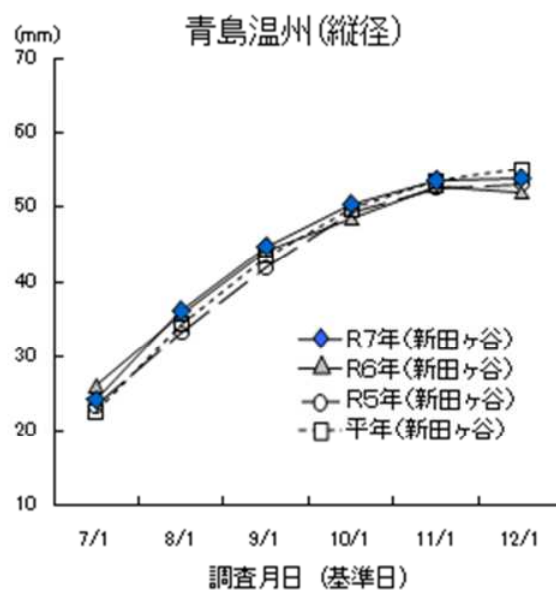
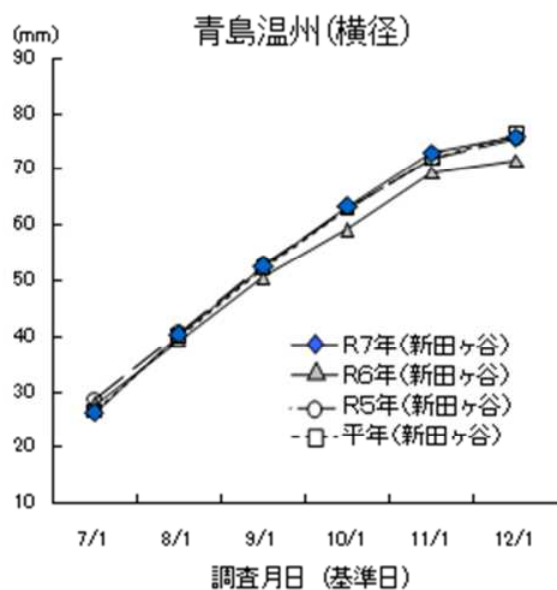
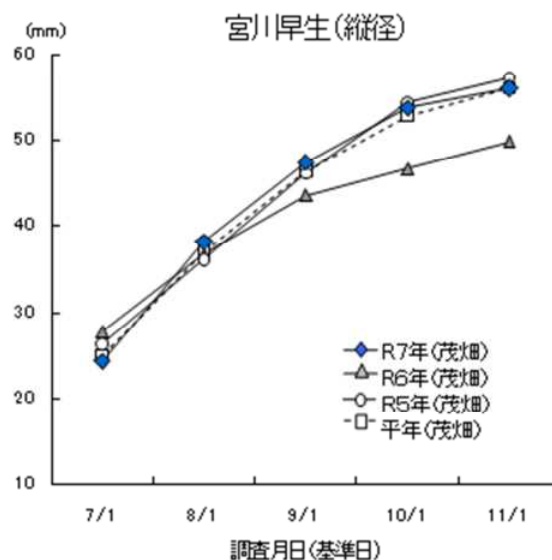
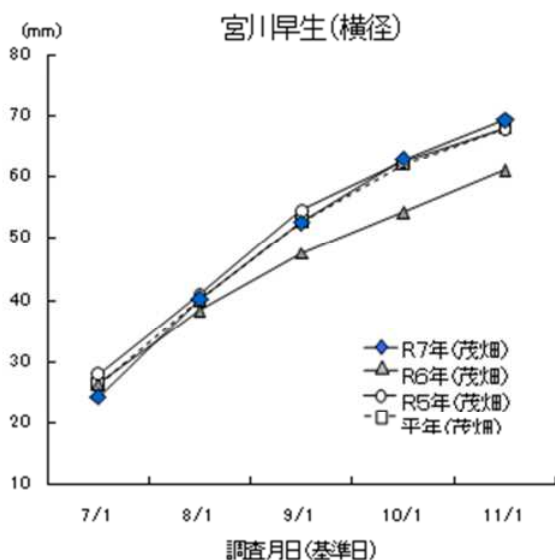
11月13日時点で、横径は70.3mm、縦径は56.6mm、果形指数は124であった。

②青島温州

12月15日時点で、横径は76.1mm、縦径は53.9mm、果形指数は141であった。

7月～8月の降水量はやや少なかったものの、本年は裏年傾向で着果量がやや少なく肥大が良好であったため、果実肥大が平年並となったと考えられる。

令和7年12月1日までの果実肥大曲線



(4) 果実品質

①宮川早生

果実品質は11月12日時点で、糖度は10.9、クエン酸含量は1.03%であった。

②青島温州

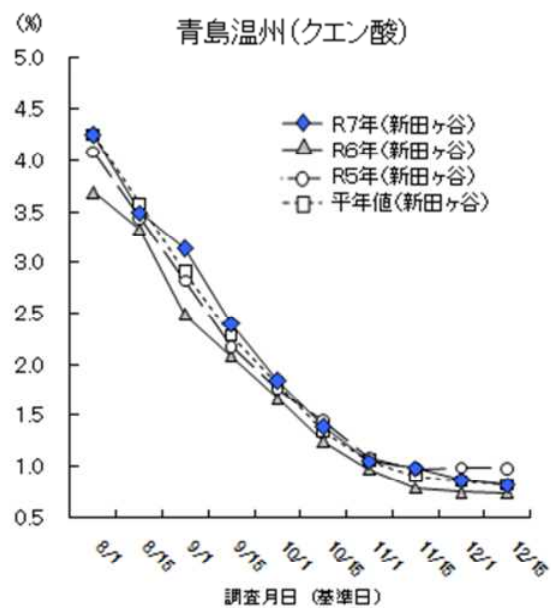
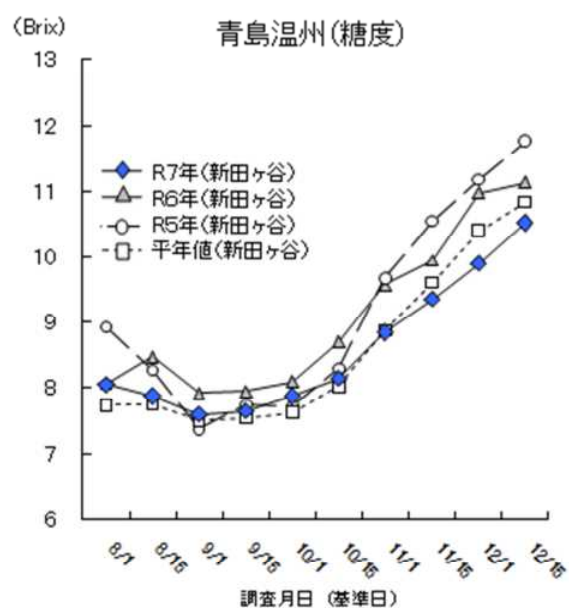
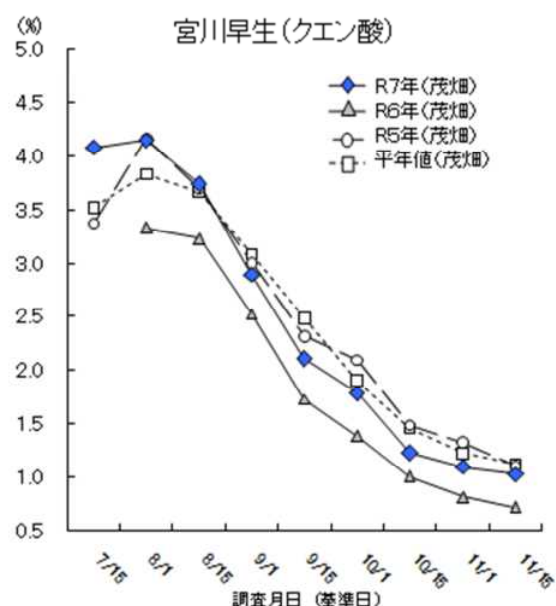
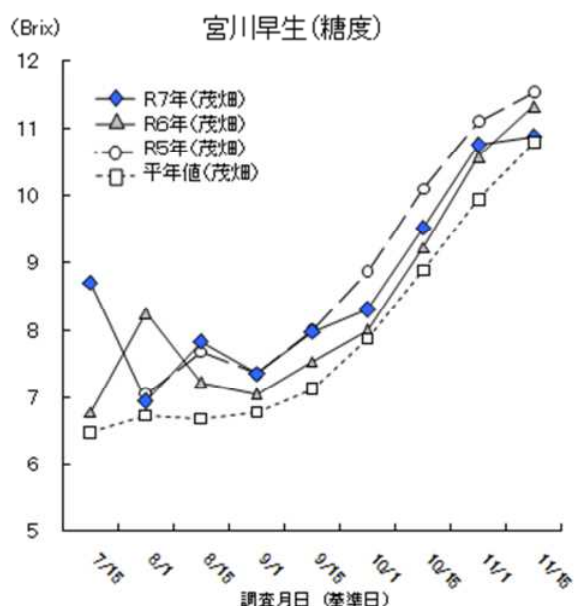
果実品質は12月15日時点で、糖度は10.5、クエン酸含量は0.81%であった。

調査初期の降雨が平年より少なかったため糖度は平年より高かった。10月以降も降水量が平年並～少なかったものの、生育後半での糖度の上昇が抑制され、平年並の糖度となった。

開花日がほぼ平年並だったことにより生育が平年並に進んだため、クエン酸含量は調査初期から平年並で推移した。

果実着色については両品種とも平年に比べて遅い傾向がみられた（データ略）。

令和7年12月15日までの果実品質の経時的変化



3 落葉果樹の生態

落葉果樹の調査地点は静岡市清水区茂畑である。

(1) 発芽期および開花期

○ナシ

- ・幸水の発芽期は3月27日、開花始期は4月11日、開花盛期は4月14日、開花終期は4月18日であった。
- ・豊水の発芽期は3月24日、開花始期は4月7日、開花盛期は4月10日、開花終期は4月15日であった。

令和7年 発芽・開花期^{注1)}

ナシ	幸水				豊水			
	発芽期	開花期			発芽期	開花期		
		始期	盛期	終期		始期	盛期	終期
R7年	3/27	4/11	4/14	4/18	3/24	4/7	4/10	4/15
R6年	3/30	4/9	4/14	4/19	3/25	4/3	4/8	4/14
平年 ^{注2)}	3/25	4/7	4/11	4/17	3/21	4/2	4/6	4/12

^{注1)} 調査基準 発芽期：新梢先端部のうち、葉の先端の緑が見える芽が、全体の10%に達した日

開花始期：全体の20～30%の花が開花した日

開花盛期：全体の80%の花が開花した日

開花終期：全体の20～30%の花弁が脱落した日

^{注2)} 平年は過去9年の平均値を使用

○カキ

- ・前川次郎の発芽期は4月7日、開花始期は5月16日、開花盛期は5月20日、開花終期は5月22日であった。
- ・四ツ溝の発芽期は4月7日、開花始期は5月16日、開花盛期は5月20日、開花終期は5月22日であった。

令和7年 発芽・開花期^{注1)}

カキ	前川次郎				四ツ溝			
	発芽期	開花期			発芽期	開花期		
		始期	盛期	終期		始期	盛期	終期
R7年	4/7	5/16	5/20	5/22	4/7	5/16	5/20	5/22
R6年	4/4	5/16	5/20	5/22	4/3	5/16	5/18	5/21
平年 ^{注2)}	4/4	5/19	5/21	5/23	4/4	5/18	5/20	5/22

^{注1)} 調査基準 発芽期：結果母枝の先端の2～3芽の第1葉が、全体の20～30%展葉した時期

開花始期：全体の20～30%の花が開花した日

開花盛期：全体の80%の花が開花した日

開花終期：全体の70～80%の花弁が脱落または褐変した日

^{注2)} 平年は過去9年の平均値を使用

○キウイフルーツ

- ・ヘイワードの発芽期は3月30日、開花始期は5月18日、開花盛期は5月21日、開花終期は5月24日であった。

令和7年 発芽・開花期^{注1)}

キウイ フルーツ	ヘイワード			
	発芽期	開花期		
		始期	盛期	終期
R7年	3/30	5/18	5/21	5/24
R6年	4/4	5/16	5/19	5/21
平年 ^{注2)}	3/30	5/18	5/21	5/24

^{注1)} 調査基準 発芽期：全体の20～30%の芽が発芽した日
 開花始期：全体の20～30%の花が開花した日
 開花盛期：全体の80%の花が開花した日
 開花終期：全体の20～30%の花弁が落弁した日

^{注2)} 平年は過去9年の平均値を使用

(2) 果実肥大

○ナシ

- ・幸水は8月10日時点で縦径69mm、横径86mmであった。
- ・豊水は8月30日時点で縦径86mm、横径96mmであった。

令和7年 ナシの果実肥大（径はmm）

幸水		6/10	6/20	6/30	7/10	7/20	7/30	8/10
縦径	R7年	30	34	40	47	55	65	69
	R6年	31	36	43	50	59	68	72
	平年 ^{注1)}	29	33	40	48	57	65	70
横径	R7年	35	39	48	56	67	80	86
	R6年	36	44	54	62	73	84	89
	平年 ^{注1)}	34	39	48	58	70	79	86

豊水		6/10	6/20	6/30	7/10	7/20	7/30	8/10	8/20	8/30
縦径	R7年	34	39	45	51	58	69	74	82	86
	R6年	35	40	47	53	62	71	77	82	85
	平年 ^{注1)}	33	38	44	52	61	70	77	81	85
横径	R7年	36	40	48	56	65	78	85	92	96
	R6年	37	44	53	60	70	80	87	94	96
	平年 ^{注1)}	35	40	49	57	68	79	87	92	96

^{注1)} 平年は過去9年の平均値を使用

○キウイフルーツ

- ・ヘイワードは10月31日時点で推定体積は94cm³であった。

令和7年 キウイフルーツの果実肥大（径はmm、推定体積はcm³）

ヘイワード		7/1	8/1	9/1	10/1	11/1
縦径	R 7年	52	58	62	65	66
	R 6年	51	54	59	61	62
	平年 ^{注2)}	50	57	61	64	65
長横径	R 7年	41	48	52	55	56
	R 6年	42	46	51	53	55
	平年 ^{注2)}	39	46	50	53	54
短横径	R 7年	37	42	45	47	48
	R 6年	38	41	45	47	48
	平年 ^{注2)}	35	41	44	46	47
推定体積 ^{注1)}	R 7年	41	61	77	89	94
	R 6年	42	54	71	80	86
	平年 ^{注2)}	36	56	71	81	87

注1) 推定体積は楕円形として計算した（推定体積＝ $\frac{4}{3}\pi \times \frac{\text{長横径}}{2} \times \frac{\text{短横径}}{2} \times \frac{\text{縦径}}{2}$ ）

注2) 平年は過去9年の平均値を使用

(3) 収穫期

○ナシ

- ・幸水の収穫始は8月12日、収穫盛は8月15日、収穫終は8月21日であった。
- ・豊水の収穫始は8月21日、収穫盛は8月25日、収穫終は9月1日であった。

令和7年 ナシの収穫期^{注1)}

幸水	収穫 始	収穫 盛	収穫 終	成熟 日数	豊水	収穫 始	収穫 盛	収穫 終	成熟 日数
R 7年	8/12	8/15	8/21	123	R 7年	8/21	8/25	9/1	137
R 6年	8/8	8/15	8/22	123	R 6年	8/22	8/28	9/2	142
平年 ^{注2)}	8/7	8/16	8/22	128	平年 ^{注2)}	8/20	8/28	9/6	145

注1) 収穫始：適熟果の最初の収穫日

収穫盛：適熟果の収穫率が50%を超えた日

収穫終：適熟果の最後の収穫日

注2) 平年は過去8年の平均値を使用

○カキ

- ・前川次郎の収穫始は 10 月 30 日、収穫盛は 11 月 14 日、収穫終は 11 月 14 日であった。

令和 7 年 カキの収穫期^{注 1)}

前川次郎	収穫 始	収穫 盛	収穫 終	成熟日数
R 7 年	10/30	11/14	11/14	178
R 6 年	10/29	11/6	11/14	170
平年 ^{注 2)}	11/3	11/10	11/19	173

^{注 1)} 収穫始：1 樹の結果数の 20%程度が収穫された日
収穫盛：1 樹の結果数の 50%程度が収穫された日
収穫終：最後の収穫日

^{注 2)} 平年は過去 6 年の平均値を使用

(4) 果実品質

○ナシ (幸水は 8 月 14 日時点、豊水は 8 月 21 日時点)

- ・幸水の果重は 347g、糖度は 12.2、果汁 pH は 5.2、硬度は 7.2lbs であった。
- ・豊水の果重は 448g、糖度は 12.2、果汁 pH は 4.6、硬度は 5.9lbs であった。

令和 7 年 ナシの果実品質

幸水	果重 (g)	糖度 (Brix)	果汁 pH	硬度 (lbs) ^{注 1)}	豊水	果重 (g)	糖度 (Brix)	果汁 pH	硬度 (lbs) ^{注 1)}
R 7 年	347	12.2	5.2	7.2	R 7 年	448	12.2	4.6	5.9
R 6 年	358	13.2	5.1	5.4	R 6 年	479	12.4	4.7	5.5
平年 ^{注 2)}	350	12.8	5.2	6.0	平年 ^{注 2)}	436	12.5	4.6	5.6

^{注 1)} 硬度の測定には FT-011 (ITALTEST 製) を用いた

^{注 2)} 平年は過去 8 年の平均値を使用

○カキ (11 月 14 日時点)

- ・前川次郎の果重は 323 g、糖度は 15.3 であった。

令和 7 年 カキの果実品質

前川次郎	果重(g)	糖度(Brix)
R 7 年	323	15.3
R 6 年	294	19.1
平年 ^{注 1)}	314	18.1

^{注 1)} 平年は過去 6 年の平均値を使用

○キウイフルーツ

【収穫前】

・ヘイワードの収穫前（10月25日時点）の糖度は6.8、クエン酸含量は3.08%、硬度は2.8kgであった。

【収穫後】

・ヘイワードは11月13日に収穫した。果重は99gであった。追熟前の糖度は7.1、クエン酸含量は2.84%、硬度は2.9kgであった。追熟後の糖度は16.9であった。

令和7年 キウイフルーツの果実品質【収穫前】（10月25日時点）

ヘイワード	糖度(Brix)	酸含量(%)	硬度(kg) ^{注1}
R7年	6.8	3.08	2.8
R6年	5.5	2.96	2.9

^{注1} 硬度の測定にはKM-5（藤原製作所製）を用いた

令和7年 キウイフルーツの果実品質【収穫後】

ヘイワード ^{注1}	果重 (g)	糖度(Brix)		酸含量(%)	硬度(kg) ^{注2}
		追熟前	追熟後	追熟前	追熟前
R7年	99	7.1	16.9	2.84	2.9
R6年	93	6.8	14.2	2.88	2.9
平年 ^{注3}	98	7.9	15.7	2.14	2.9

^{注1} 令和7年度の追熟前調査日は11月13日（収穫日）、追熟後調査日は11月19日

令和6年度の追熟前調査日は11月13日（収穫日）、追熟後調査日は11月22日

^{注2} 硬度の測定にはKM-1（藤原製作所）を用いた

^{注3} 平年は過去9年の平均値を使用